

## 第1回委員会の主な意見と回答

7 諒問				
(1) 史跡西南戦争遺跡保存活用計画（案）について				
ア) 計画対象地の位置づけと優先順位について				
No.	委員	委員発言	当日回答	備考
1	小畠委員長	追加指定予定の民有地について、所有者に説明はしているか。	今はまだしていない。	今後、計画策定完了までに隨時所有者等に説明に伺う予定。
2	淺川副委員長	七本官軍墓地を修復するに伴い、発掘調査は実施するか。	検討する。	
(1) 史跡西南戦争遺跡保存活用計画（案）について				
イ) 第1章「計画策定の経緯と目的」の内容について				
No.	委員	委員発言	当日回答	備考
3	前川委員	第1章第2節「計画策定の目的」で「西南戦争が日本最後の内戦と呼ばれ続けるように啓発を続けていく」は「西南戦争が正しく理解されるよう啓発を続けていく」に修正してはいかがか。	修正する。	
4	高木委員	「観光マーケティング戦略」の戦略プログラムの中で「歴史文化のストーリー化による回遊性向上」とは具体的にどういうことか。	熊本城だけではなく市内に存在する歴史的文化的な場所に回遊して、熊本市の歴史文化に触れていただくというストーリーを立てたいと思っている。	(観光政策課回答) 当日回答のとおり。
5	落合委員	他に参考になる事例はあるか。	調査する。	
(1) 史跡西南戦争遺跡保存活用計画（案）について				
ウ) 第2章「熊本市及び史跡周辺の概要」の内容について				

6	淺川副委員長	「顕彰の歴史」について。東京招魂社との関係なども調査して触れると良いと思う。		検討する。
7	前川委員	第2章第1節の1の下から2行目「山麓」が「山麗」になっているので修正を。	修正する	
8	小畠委員長	「社会的環境」「歴史的環境」について、今後10年間で地域がどう変わっていくのかが分かる資料と分析を求める。特に旧植木町域がどういう現状にあるのかが分かるように植木町軸で立て直して。	修正する。	
(1) 史跡西南戦争遺跡保存活用計画（案）について エ) 第3章「史跡の概要」の内容について				
9	淺川副委員長	文言の修正。 「俵などを用いた築陣地の状況」⇒「俵などを用いた胸牆構築の状況が推定できる」 「陸軍軍人256名」⇒「陸軍将兵276名」 「警視隊員14名」⇒「警視隊士」 「尉官墓」「下士墓」⇒「尉官将校墓」、「下士官墓」 「浅く埋められていた」⇒「仮埋葬されていた300名以上の遺体を改めて埋葬した」	修正する。	
10	熊本県	計画対象範囲図がない。 関連計画に玉東町の保存活用計画がない。 周辺の遺跡に玉東町分を追加。		関係図面は現在作成中。周辺遺跡に関しては今後玉東町と情報交換を行う。